

		身につける能力				
		1	2	3	4	5
		量的・質的データ解析を行い科学的根拠に基づくPDCAサイクルの実施ができる	関係者との横断的な連携及び協働ができる	倫理的感性を高め、個別課題、地域課題、産業保健分野の課題への視点及び活動の展開ができる、予防的介入を重視することができる	日々研鑽し社会の変化に対応した最善の保健活動ができる	年齢、性別、人種、生活背景、経済力等の違いに関心を持ち、グローバルな視点で多様なニーズを理解できる
保健師課程科目 Curriculum policy 保健師の養成を目指した科目で、保健師の実践能力を修得するための基盤となり、実践能力を養う。	4 年次	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 健康教育学演習				公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 健康教育学演習
		公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ 産業看護学実習				公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ 産業看護学実習
	公衆衛生看護活動展開論Ⅳ				公衆衛生看護活動展開論Ⅳ	
	3 年次	公衆衛生看護学方法論 産業保健学概論 産業看護学方法論 ライフステージと法制度 健康危機管理論 健康生活支援論 疫学応用 保健統計学Ⅱ応用			健康生活支援論	公衆衛生看護学方法論 産業保健学概論 産業看護学方法論 ライフステージと法制度 健康危機管理論 健康生活支援論 疫学応用 保健統計学Ⅱ応用
公衆衛生看護学概論 産業看護学概論 保健医療福祉行政論Ⅱ			産業看護学概論	公衆衛生看護学概論 産業看護学概論 保健医療福祉行政論Ⅱ		

保健師受験資格を満すために、看護課程で、必修もしくは選択科目として履修が必要	2 年次	疫学基礎 保健医療福祉行政論Ⅰ
	1 年次	保健統計学Ⅰ基礎 公衆衛生学 健康教育学基礎

養護教諭二種を取得するためには、下記の4科目の履修が必要
 日本国憲法、英語、情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱ、ウェルネススポーツ